東京の生協
Photo News
東京都生協連
会報
2025
新春号
No.775

2025年度東京都予算要望都知事ヒアリング
小池都知事に都内生協の要望と提案を伝え意見交換しました

小池都知事への要望書の手交

2016年度から実施されている「各種団体からの東京都予算に対する都知事ヒアリング」が今年も東京都庁で開催され、東京都生協連のヒアリングは12月２日（月）に行われました。

小池都知事、中村副知事をはじめ各局の局長、次長などが出席し、東京都生協連からは、村上会長理事、河田副会長理事（コープみらい専務理事）、秋山専務理事をはじめ会員生協からパルシステム東京松野理事長、東都生協石渡副理事長、生活クラブ生協加瀬理事長、自然派くらぶ生協菊地理事長、事務局の計９名が参加しました。

最初に村上会長理事より、「2025年度東京都予算に関する提案および要望」を小池都知事に手交した後、主に以下の４点について要望しました。

①生活困窮者や社会的弱者への支援に取り組んでいるNPOや市民団体等への支援拡充
②能登半島１月地震及び９月豪雨災害の被災地支援の継続
③東京都と締結している「災害時応急生活物資協定」の見直しによる災害対策の強化
④生協の宅配等の配送車両への駐車規制の緩和

これに対し、小池都知事と総務局、生活文化スポーツ局、都市整備局よりそれぞれ重点要望の内容に沿った形で東京都の施策について具体的な説明と回答がありました。会合は短時間であるものの、小池都知事と都の幹部に、都内生協の事業概況と要望を直接伝え、意見交換できる貴重な機会です。今回のヒアリングも地域生協の会員から理事長、副理事長の皆さんに同席いただき、都内生協の共通する諸課題を小池都知事に村上会長から伝えられた意味は大きく、今後も機会あるごとに都内生協の実情と要望を伝えていきます。

要望を説明する村上会長理事

要望を受け、回答する小池都知事

都知事ヒアリングの様子

東京都生活協同組合連合会

能登半島地震・豪雨災害被災者への、息の長い支援を会員生協とともに続けていきます。

被災地に思いを寄せて

2024年元日の地震被害に追い打ちをかけるように、同年９月に奥能登で豪雨災害が発生しました。

東京都生協連では、豪雨災害の発災翌週の９月27日からあわせて４回、会員生協とともに街頭募金を実施し、写真パネルを使い、被害の現状もお伝えしました。街頭だけではなく、東京都生協連会館内の事務所では常時募金箱を設置して呼びかけています。

中野駅前での募金活動

東京都生協連会館前での募金活動

会館の中でも募金活動

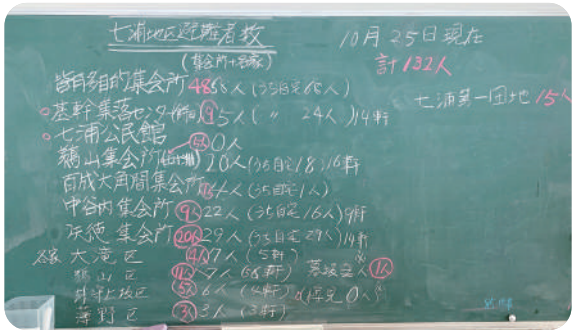
昨年９月末で終了した東京都と社会福祉協議会が主催する、「都民のボランティア活動による被災者支援活動」を引き継ぐ形で始まった、一般社団法人災害協働サポート東京主催「能登半島被災地支援プログラム」に際し、会員生協に現地ボランティアの呼びかけや、地域生協への資金協力の呼びかけなど、被災地を支えるため出来る限りの協力を行っています。

現地では、被災地域での支えあい・交流の場づくりとしてのサロン活動（ふれあい喫茶）を2025年３月まで月に１回のペースで実施しています。

また、地域内の住民の方々にもお手伝いいただきながら、活動が終了する際には、住民のみなさんの手でサロンの運営ができるような形を目指し、地域コミュニティ支援を行っています。

輪島市門前町七浦（しつら）地区の土砂流出の様子

輪島市町野町金蔵集会所でのサロンの様子、
ボランティアが焼いたホットケーキを食べながらのふれあい喫茶



輪島市門前町七浦公民館の避難者集約ボード

東京の生協の皆さんと、これからも
東日本大震災の被災者に寄り添い続けます。

「避難者と支援者による2024ふれあいフェスティバル」に、みんな集まっぺ！

11月16日（土）、東日本大震災により広域に避難されている方々が交流する、年に一度の「ふれあいフェスティバル」が飯田橋の東京都社会福祉協議会で開催されました。都内には2,646名（2024年２月１日現在）が避難されており、この交流会は、長い避難生活においてお互いに支え合い情報交換をする場となっています。主催は広域避難者支援連絡会in東京で、東京都生協連も支援団体として健康チェックのブースと、「貯筋体操」のステージで参加。避難されている方々と支援団体132名が、楽しく和やかに交流を深めました。

東京都生協連のブースで「すこしおカルタ」減塩生活をおすすめ

「貯筋体操」をレクチャーする東京保健生協の小野婦美枝さん

「ふくしまの今を知り、ふくしまと東京の生協をつなぐ旅」

10月29日（火）～30日（水）に開催した東日本大震災被災地交流企画には、７生協２事業連合から16名が参加しました。浜通り医療生協の取り組み、富岡町の語り部の体験談、震災遺構請戸小学校と東京電力廃炉資料館の見学、JAふくしま中央会訪問など、復興に欠かせない重要な産業である農業の現状や、現地の生の声を聴くことに重点を置きました。12月３日（火）に開催した「振り返りの会」では参加者による意見交換を行い、被災地に寄り添う活動を継続し、東京の大規模災害への対応に生かすことを共有しました。

語り部さん（富岡町SAKURA見晴台にて）

新しい産業のワイン造り、ブドウ畑にて

会員生協の皆さんから
情報をお寄せいただきました

会員生協の取り組み

八王子保健生活協同組合　毎年恒例！はちせい最大のイベントを今年も開催

10月20日（日）、雲ひとつない秋晴れのもと、第37回はちせいまつりが城山病院駐車場特設会場で開催されました。今年も小さなお子さんからご年配の方まで、たくさんの方々が遊びに来てくださいました。

手作り料理の販売コーナーに参加された方からは、「とっても楽しい一日でした。来年も再来年も参加できるように、健康づくりを頑張ります」といった嬉しい声も聞かれました。（八王子保健生活協同組合より）

医療生協ならではの健康相談コーナー

子どもたちに大人気のハロウィンパレード

例年大好評の採れたて野菜販売コーナー

東京葛飾医療生活協同組合・コープみらい葛飾白鳥店　お買い物ついでに、健康をチェック！

毎月第２水曜にコープみらい葛飾白鳥店の店内で、東京葛飾医療生協白鳥支部の皆さんによる健康チェックを行なっています。葛飾区に新店舗としてコープみらい葛飾白鳥店ができたことから、２つの生協で連携できることはないか話し合い、2023年10月から継続開催して１年が経ちました。買い物に来た方に組合員が「血管年齢計ってみませんか」とお声掛けすると、次々と健康チェックを受けられていました。東京葛飾医療生協の看護師さん、ケースワーカーさんが血管年齢、血圧、酸素飽和度を計りながら、色々な相談にのって話が弾んでいます。特に悪い数字は無くて大丈夫だったと嬉しそうに帰って行かれる方に「来月も来てくださいね」と元気にお声をかけていました。

以前は駅前で行っていた健康チェックが店舗内で出来るようになってから受けてくださる方も増えて良かったですと笑顔でお話ししてくださいました。お互いができることで、ゆるやかな生協のつながりが感じられ地域のみなさんにも喜ばれる場所となっています。

気軽に質問もできるので好評です

定期的に検査するのが大事ね

東京葛飾医療生協の皆さん

東都生協・東京西部保健生協・城南保健生協共催企画

歌うだけではない　こだわりのうた広場

10月12日（土）、「うた広場」が東都生協のさんぽんすぎセンターで開かれました。

「歌うだけではない」ってどういう事？２時間で18曲。もちろん、歌もたくさん歌います。みんなで歌うんですよ。季節の歌からはじまり、童謡、フォークソング、歌謡曲、振り付け曲、最後はやっぱりこの歌 … と２時間のストーリーを考えています。曲と曲の間のトークもやけに長いんです。こだわりの強い「うた広場」にぜひ、一度いらしてください。今後も定期的に３生協共催の「うた広場」が開かれます。

歌いながら、手ぶりを加えて楽しく、健康に

東京経済大学生協

生協がゼミや大学医務室、モルックサークルと協力して健康づくり

12月４日（水）、東京経済大学で藤井特別ゼミの生協チームを中心に「健康フェスタ」が開催されました。当日は握力測定、血圧、アルコールパッチテスト、食生活相談会、栄養素クイズ、肌水分量、屋外ではモルックと企画が目白押しでした。食生活相談会では栄養士さんが詳しくお話ししながら、相談内容に合わせた生協食堂の小鉢券をプレゼントしていました。アルコールパッチテストでは腕にシールを貼って自分のアルコールへの体質を測定、飲みすぎ注意のカードを配布していました。参加した学生さんは健康を考える良い機会になりましたと言っていました。

食生活相談コーナー

血圧測定

アルコールパッチテスト

コープみらい

中野中央店で初のフードドライブに東京４ブロック委員会がチャレンジ！

10月７日（月）、フードドライブを地域の方々にも知ってもらいたいとの思いから開催しました。

案内チラシは、店内だけでなく近隣の町会掲示板にも貼り、地域の方々の目に留まる工夫をしたところ、当日は食品118点、お菓子22点もの食品が箱いっぱいに集まりました。中野区で集まった食品は、中野区内にお住いの方の支援につなげたいという、もうひとつの思いも形にするために、すべて中野区社会福祉協議会へ寄贈しました。

コープみらい東京４ブロックの皆さん

中野区社会福祉協議会にお届けしました

東京の生協がすすめる食と健康づくりをお知らせ

10月25日（金）、26日（土）、新宿西口広場イベントコーナーで「東京都消費者月間交流フェスタ」が開催され、東京都生協連は東京保健生協の協力を得て健康チェックブースとスクエアステップの紹介＆体験ステージを行いました。「東京の生協がすすめる食と健康づくり」をテーマに、健康チェック参加者に「すこしおチェックシート」を配布したり、フレイル予防のためのスクエアステップを紹介して喜ばれました。両日合わせて、約400名の方が当会のブースを訪れました。

東京保健生協によるスクエアステップ

血圧・握力測定は人気でした

私たちのまちを知ろう～まちにくらす消費者と消費者行政担当者との懇談～

私たちのまちでは、高齢者の消費者被害防止や若年層への啓発はどのようにおこなわれているか？６月におこなった消費者行政アンケート回答をもとに、９月～12月に区市町村23の消費者センター（相談室等含む）を都内生協や消費者団体の皆さんと一緒に訪問、取り組み内容を聞き私たちの活動と連携できそうなことについて交流しました。「店舗に消費者センター紹介チラシを置きたい」、「配送センターで出前講座をやりたい」など今後につながる意見もありました。消費者行政調査活動は今年で15年目となります。

足立区での懇談の様子

国分寺市での懇談の様子

コープみらいフェスタで握力チェックが大好評！ 250人が測定！

12月１日（日）、「ともにみらいへ！笑顔の明日へ！」をテーマに開催された「コープみらいフェスタin東京ビッグサイト」に東京都生協連は「健康を考える」「防災を考える」の２つのテーマで出展しました。体験企画として行った握力チェックは、用意した２台で常に誰かが測定しているほどの人気ぶりでした。展示では、すこしお情報や、日常の防災に役立つ情報提供と、CO-OP商品でできるローリングストックの提案を行い、関心を集めることができました。

親子の来場者が握力測定、結果の数値に興味津々

防災にも役立つCO・OP商品

生協だからできる空き家活用や居住支援について学びあいました

11月11日（月）、３人の講師をお迎えしてまちづくり講座第21講「空き家活用・居住支援から考える・空き家から始めるまちづくり」を開催しました。日本の空き家の現状や実際に手掛けた事例の報告、空き家活用の取り組みをすすめる上で大切なことなどをご講演いただきました。その後、トークセッションで内容をさらに深め、参加者は４つのグループに分かれて所属生協やまちづくり活動にどのように活かせるか交流をしました。

左）三浦一浩さん（生協総合研究所　研究員）
右）加藤陽介さん（生活クラブ生協提携建築士）

左）赤坂禎博さん（株式会社　生活クラブすまい・る専務）
右）羽田野美知子さん（柿の木ハウス代表・東京保健生協練馬協議会学園通り副支部長）

中野区桃園地区まつり文化祭に初出展！

10月６日（日）、桃園区民活動センターで開催された文化祭に、青果販売のブースとして参加しました。青果は、コープみらい中野中央店に仕入れのご協力をいただきました。来場された地域の方々にジャガイモやニンジンなどを販売しながら交流し、中野区内での連携をさらに深めることができました。

「東京の生協・協同組合学びの講座」で都市農業と気候変動への対応を学びました

10月15日（火）～10月16日（水）、「東京の生協・協同組合学びの講座（第Ⅱ期）第４・５講」を開催し、都内生協・協同組合団体から10組織23名の皆さんが参加しました。第４講はJA東京中央会とJA東京中央の連携による講義と圃場見学を組み合わせ、東京の都市農業について学びました。

第５講は法政大学名誉教授の田中充さん（当会理事）から「気候変動への地域からの対応を学ぶ～脱炭素と適応の視点」と題して学び、２日間を通じて協同組合の垣根を超えた参加者同士の学びと交流を深めることができました。

都市農業の現場、圃場を見学する
参加者の皆さん

田中充さんを講師に「気候変動への地域からの対応を学ぶ～脱炭素と適応の視点」について参加者でグループ討議

◎JA東京中央会との共催第２弾
2024あぐりフレンズ・東京　野菜博士ミスターＭからの挑戦状
◎2024年度介護事業所職員スキルアップ研修
『カスタマーハラスメント対策と対応を学ぶ』

その他の
とりくみは
東京都生協連
ホームページから
ご覧頂けます。

東京ふれあい医療生協とすずしろ医療生協が合併することになりました

11月１日（金）、東京ふれあい医療生協とすずしろ医療生協との合併調印式が開かれました。当日は東京ふれあい医療生協から野島理事長、百瀬専務理事、福田職員、すずしろ医療生協から原澤理事長、小山専務理事が参加、立会人として東京都生協連も参加しました。

2025年４月１日（火）、東京ふれあい医療生協とすずしろ医療生協が合併し、新たな１歩を踏み出します。

右）東京ふれあい医療生協　野島理事長
左）すずしろ医療生協　原澤理事長

おおさかパルコープを視察し「宅配事業における働き方改革」の実践を大いに学びました

12月６日（木）、地域生協宅配事業責任者懇談会として「生活協同組合おおさかパルコープ」への視察を実施しました。参加者は会員生協から13名と東京都生協連より秋山専務と事務局１名の計15名。本部事務所に集合したあと、西区にある安治川共同購入支所を訪問し倉庫内での出荷準備の様子や事務所内を見学、さらに全支所に設置されている食堂で昼食をいただきました。パルコープの職員のみなさんも毎日ここでおいしいお昼を食べて、午後の２便に出発されるとのこと。その後は同じ西区内の宅配の中継所となる西区新町デポを訪問、自転車でリヤカーを引いてデポ周辺の配達をされる様子も見せていただきました。このデポ周辺には高層マンションも立ち並び、同じ都市部で配達に苦労されている様子も共有することができました。そして事務所に戻り、奥井理事長、甲斐常務理事よりこの間のとりくみについてのご報告を受け、参加した会員生協から多くの質問が出され、活発な意見交換が行われました。

この間全国の生協で話題になっている、宅配事業における働き方改革の実践や同じ都市部をエリアに持つ生協間での実践交流、また現場視察を通じて、東京都内の生協の今後を考える大変貴重な機会となりました。

昼時の駐車場、
午後の２便のためにトラックが戻っています

倉庫内で甲斐常務のお話を聴く
視察参加者のみなさん

熱心に実践報告を聴き、
活発な質疑応答が行われました

積み込み作業の動画や写真を
たくさん撮影

東京都生協連会報　東京の生協 Photo News 2025年新春号　No.775
発行日　2025年１月15日
発　行　東京都生活協同組合連合会　発行責任者/ 秋山 純
〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18
電話 03-3383-7800　FAX 03-3383-7840

記事の詳しい内容はホームページにも
掲載しております。
https://www.coop-toren.or.jp